

宇都宮市立雀宮中学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・宇都宮モデル(「はっきり」「じっくり」「すっきり」)を軸とした授業の実施	・授業の目標(めあて、ねらい)を示し、授業中の生徒の活動(話し合いや作業)の時間を十分に確保する。 ・授業の終わりまたは単元などの終わりに振り返り活動を行う。	・「授業がどの程度分かりますか」の問いに肯定割合が、(3年)80.7%, (2年)78.3%, (1年)85.0%と高い結果であった。 ・「授業を集中して受けている」の問いに肯定割合が、(3年)86.7%, (2年)88.6%, (1年)88.9%と高い結果であった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・国・県・市の調査ともに、記述式設問の正答率が選択式、短答式と比べて低く、無回答率が高い傾向がある。
- ①基礎的な知識を身に付けるために、次年度も宇都宮モデルを軸とした授業の実施を継続し、さらに前時の復習を授業の導入時に行ったり、振り返りを行ったりする。
- ②ＩＣＴ機器を用いた学習で、肯定割合が高いことから、ＩＣＴ機器を適切に用いて、思考力・判断力・表現力の育成と知識の活用を図る。
- ③基礎的な設問でも記述式設問の正答率が低いことから、自分の考えを文章で表現することを練習する必要があると考えられる。次年度はすべての教科で「書くこと」「表現すること」などに重点を置いた活動を授業に取り入れ、成果について検証、改善を図る。